

ENGLISH TRANSLATION OF ABSTRACT OF JAPANESE UTILITY
MODEL REGISTRATION NO.3046218:

Abstract:

5 Object:

To provide a program showing system which
utilizes data on a network, is capable of simultaneously
reproducing description related to the data and audio
data such as music, and further enables easy editing of
10 the program.

Structure:

Program showing means 5, 6 for showing a
program including video and audio with respect to
audiences, program showing control means 2 connected to
15 a network 10 and for outputting a video signal and an
audio signal to the program showing means, and a program
showing server 11 connected to the network and storing a
program showing schedule data, image data and audio data,
are provided. The program showing control means
20 receives the program showing schedule data, the image
data and the audio data from the program showing server
via the network, and reproduces and outputs to the
program showing means the image data and data received
from a general server according to the program showing
25 schedule.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3046218号

(45) 発行日 平成10年(1998) 3月 6日

(24) 登録日 平成 9 年(1997)12月 3日

(51) Int. Cl. ⁴	識別記号	序内整理番号	P I	技術表示箇所
H 0 4 N 7/10			H 0 4 N 7/10	
G 0 6 F 13/00	3 5 7		G 0 6 F 13/00	3 5 7 Z
G 0 9 G 5/00	5 5 5		G 0 9 G 5/00	5 5 5 D
H 0 4 N 5/93			H 0 4 N 5/93	E

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願平9-7616

(22) 出願日 平成 9 年(1997) 8月12日

(73) 実用新案権者 591053926

財団法人エヌエイチエンジニアリング
サービス

東京都世田谷区砧1-10-3

(73) 実用新案権者 597122323

日本労働研究機構

東京都新宿区西新宿2丁目3番1号新宿モ
ノリス

(73) 実用新案権者 597122334

株式会社クライス

東京都品川区戸越5丁目1番3号サン戸越
2F

(74) 代理人 弁理士 円城寺 貞夫 (外1名)

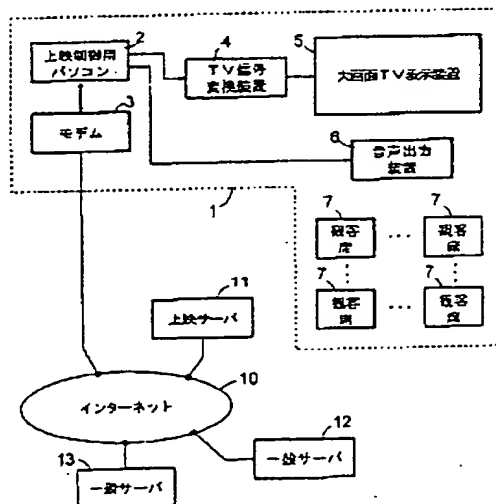
続き有

(54) 〔考案の名称〕 ネットワークを利用した上映システム

(57) 〔要約〕

〔目的〕 ネットワーク上のデータを利用し、かつそのデータについての説明や音楽等の音声データも一緒に再生することができ、さらに番組の構成も容易に行うことのできる上映システムを提供する。

〔構成〕 観客に対して映像と音声を含む番組を上映可能な上映手段5、6と、ネットワーク10に接続され、前記上映手段に映像信号と音声信号とを出力する上映制御手段2と、前記ネットワークに接続され、番組の上映スケジュールデータ、画像データおよび音声データを保持する上映サーバ11とを有し、前記上映制御手段は、前記上映サーバから前記ネットワークを介して前記上映スケジュールデータ、前記画像データおよび前記音声データを受信し、前記上映スケジュールに従って画像データ、一般のサーバから受信したデータおよび音声データを再生して前記上映手段に出力するものである。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 観客に対して映像と音声を含む番組を上映可能な上映手段（5、6）と、ネットワーク（10）に接続され、前記上映手段（5、6）に映像信号と音声信号とを出力する上映制御手段（2）と、

前記ネットワーク（10）に接続され、番組の上映スケジュールデータ、画像データおよび音声データを保持する上映サーバ（11）とを有し、

前記上映制御手段（2）は、前記上映サーバ（11）から前記ネットワーク（10）を介して前記上映スケジュールデータ、前記画像データおよび前記音声データを受信し、前記上映スケジュールデータに従って画像データおよび音声データを再生して前記上映手段（5、6）に出力し、また、前記上映スケジュールデータに従って前記ネットワークに接続された前記上映サーバ（11）以外の一般のサーバ（12、13）から受信したデータを前記上映手段（5、6）に出力するものであるネットワークを利用した上映システム。

【請求項2】 請求項1に記載したネットワークを利用した上映システムであって、

前記ネットワークは広域ネットワーク（10）であるネットワークを利用した上映システム。

【請求項3】 請求項2に記載したネットワークを利用した上映システムであって、

前記広域ネットワークはインターネット（10）であるネットワークを利用した上映システム。

10

*

2

*【請求項4】 請求項1～3のいずれか1つに記載したネットワークを利用した上映システムにおいて、前記上映手段はTV表示装置（5）を含み、前記上映制御手段はコンピュータ（2）を含むものであるネットワークを利用した上映システム。

【図面の簡単な説明】

【図1】 図1は、本考案の上映システムの機器構成を示す図である。

【図2】 図2は、上映システムの動作の流れを示す図である。

【図3】 図3は、上映サーバ内に蓄積されている上映スケジュールデータの例を示す図である。

【図4】 図4は、表示制御用パソコンの番組上映の動作を示す図である。

【符号の説明】

1…ビデオシアター

2…上映制御用パソコン

3…モデム

4…TV信号変換装置

5…大画面TV表示装置

6…音声出力装置

7…観客席

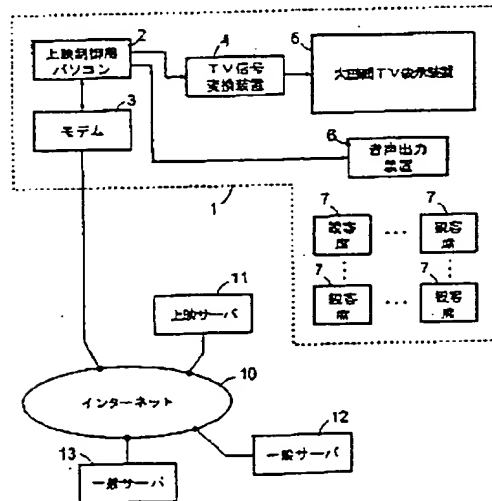
10…インターネット

11…上映サーバ

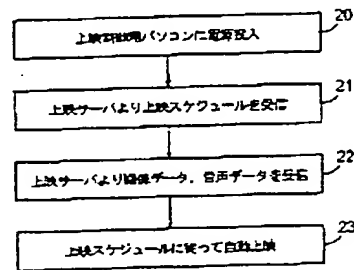
12…一般サーバ

13…一般サーバ

【図1】



【図2】



〔図3〕

No.	開始時間	図 像	音 声
1	10:00:00	C:\PICTURE\PI0001.TIF	D:\AUDIO\AUDIO01.WAV
2	10:00:15	C:\PICTURE\PI0002.TIF	C:\AUDIO\AUDIO02.WAV
3	10:00:30	http://www.a01	C:\AUDIO\AUDIO03.WAV
4	10:01:00	http://www.a02	C:\AUDIO\AUDIO04.WAV
5	10:02:00	http://www.a03	C:\AUDIO\AUDIO05.WAV
6	10:05:00	http://www.a04	C:\AUDIO\AUDIO06.WAV
⋮	⋮	⋮	⋮

〔図4〕

No.	開始時間	競争制採用パソコンの動作
1	10:00:00	上巻用プログラムを起動し、画像データ(C:\PICTURE\PI0001.TIF)を画面表示するとともに、音声データ(C:\AUDIO\AUDIO01.WAV)を再生する。
2	10:00:15	画像データ(C:\PICTURE\PI0002.TIF)を画面表示するとともに、音声データ(C:\AUDIO\AUDIO02.WAV)を再生する。
3	10:00:30	ホームページ表示用プログラムを起動し、インターネットに接続し、ホームページ(http://www.a01)を画面表示するとともに、音声データ(C:\AUDIO\AUDIO03.WAV)を再生する。
4	10:01:00	ホームページ(http://www.a02)を画面表示するとともに、音声データ(C:\AUDIO\AUDIO04.WAV)を再生する。
5	10:02:00	ホームページ(http://www.a03)を画面表示するとともに、音声データ(C:\AUDIO\AUDIO05.WAV)を再生する。
6	10:05:00	ホームページ(http://www.a04)を画面表示するとともに、音声データ(C:\AUDIO\AUDIO06.WAV)を再生する。
⋮	⋮	⋮

フロントページの続き

- (72)考案者 小井土 有治
東京都新宿区西新宿2丁目3番1号新宿モ
ノリス 日本労働研究機構内
- (72)考案者 伊地知 干城
東京都新宿区西新宿2丁目3番1号新宿モ
ノリス 日本労働研究機構内
- (72)考案者 松崎 淳嗣
東京都世田谷区站1丁目10番3号 財団法
人エヌエイチケイエンジニアリングサービ
ス内

- (72)考案者 野村 正規
東京都世田谷区站1丁目10番3号 財団法
人エヌエイチケイエンジニアリングサービ
ス内
- (72)考案者 金澤 勝
東京都世田谷区站1丁目10番3号 財団法
人エヌエイチケイエンジニアリングサービ
ス内
- (72)考案者 竹山 章三
東京都品川区戸越5丁目1番3号サン戸越
2F 株式会社クライス内

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は、劇場や教室等において複数の観客に対して番組を上映する上映システムに関し、詳しくはネットワークを利用して番組を上映する上映システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

最近、インターネットに対する関心が急速に高まっており、劇場、教室、ビデオシアター等においても、インターネットに関する番組上映の要望が増えてきている。従来のビデオシアター等においても、インターネットに接続した個人用コンピュータ（以下、パソコンという）の画面表示データをスキャンコンバータ等により上映表示装置に表示することにより、ホームページを次々と上映するような番組を上映することは可能である。

【0003】

インターネット上には世界中の様々な種類かつ膨大な量のデータが保存されているため、これらのデータを利用して良質な番組を多数作ることが可能である。このようにインターネット上のデータを利用することにより、多種多様な番組を短期間で制作し上映することができるため、同じ番組を長期間上映して観客が飽きてしまうこともなくなる。ただし、現時点ではインターネット上のホームページ等のデータは文字データ、静止画像データが中心であり、音声データはまだ少ない。また、ホームページ上での操作方法等を音声により説明するためには、別途説明員が必要となる。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

従来のビデオシアター等においてインターネットのデータを利用した番組を上映しても、ホームページ上での操作方法等を音声により説明するために、別途説明員が必要となり、人手がかかるとともに人件費等のコストが上昇してしまう。かといって、全く説明音声や音楽をなくして、単純にホームページを次々に表示

していくだけでは、番組の意味を理解することが困難となり、また観客の意識が散漫になって、番組に対する興味が著しく低下してしまう。

【0005】

そこで、本考案は、インターネット等のネットワーク上のデータを利用し、かつそのデータについての説明や音楽等の音声データも一緒に再生することができ、さらに番組の編成も容易に行うことのできる上映システムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本考案のネットワークを利用した上映システムは、観客に対して映像と音声を含む番組を上映可能な上映手段と、ネットワークに接続され、前記上映手段に映像信号と音声信号とを出力する上映制御手段と、前記ネットワークに接続され、番組の上映スケジュールデータ、画像データおよび音声データを保持する上映サーバとを有し、前記上映制御手段は、前記上映サーバから前記ネットワークを介して前記上映スケジュールデータ、前記画像データおよび前記音声データを受信し、前記上映スケジュールデータに従って画像データおよび音声データを再生して前記上映手段に出力し、また、前記上映スケジュールデータに従って前記ネットワークに接続された前記上映サーバ以外の一般のサーバから受信したデータを前記上映手段に出力するものである。

【0007】

また、上記のネットワークを利用した上映システムにおいて、前記ネットワークは広域ネットワークであることが好ましい。

【0008】

また、上記のネットワークを利用した上映システムにおいて、前記広域ネットワークはインターネットであることが好ましい。

【0009】

また、上記のネットワークを利用した上映システムにおいて、前記上映手段はTV表示装置を含み、前記上映制御手段はコンピュータを含むものであることが好ましい。

【0010】

【考案の実施の形態】

本考案の実施の形態について図面を参照して説明する。図1は、本考案の上映システムの機器構成を示す図である。ビデオシアター1には、上映手段として大画面TV表示装置5と音声出力装置6が設置されており、複数の観客席7にいる観客に対してビデオ番組、TV番組等を上映することが可能となっている。ただし、ビデオ番組、TV番組を上映するための機器は周知であるため図示を省略している。

【0011】

ビデオシアター1には、上映制御手段として上映制御用パソコン2が設けられている。上映制御用パソコン2の画面表示用の映像信号は、TV信号変換装置4によってスキャン周波数やノンインターレース/インターレースの変換が行われ、大画面TV表示装置5に出力される。また、上映制御用パソコン2が音声データを再生してアナログ化された音声信号は音声出力装置6に出力される。

【0012】

上映制御用パソコン2は、モデム3を介して広域ネットワークであるインターネット10に接続可能となっている。インターネット10は世界中のネットワークを互いに接続したものであり、多数の企業内ネットワークや商用ネットワーク等が接続されている。そして、本考案の上映システムの上映番組を管理する管理者が運用する上映サーバ11も、インターネット10に接続されている。上映サーバ11には、番組の上映スケジュールのデータと、番組の上映に必要な画像データおよび音声データが保存されている。また、インターネット10には、種々のホームページ等のデータが保存された一般サーバ12、13…が多数接続されている。

【0013】

図2は、上映システムの動作の流れを示す図である。まずステップ20では、ビデオシアターにおける操作者が上映制御用パソコン2の電源を投入する。または、タイマー等によって所定の時刻に自動的に電源を投入するようにしてもよい。次にステップ21において、上映制御用パソコン2からモデム3を介してイン

ターネット10に接続し、さらに上映サーバー11に接続する。上映サーバー11には常時電源が入っていて、いつでもアクセス可能となっている。上映サーバー11には、番組の上映スケジュールのデータ、上映に必要な画像データ、音声データが保存されている。

【0014】

次にステップ22において、上映サーバー11から送信された、番組の上映スケジュールのデータ、上映に必要な画像データ、音声データを受信し、上映制御用パソコン2に内蔵された固定ディスク装置等の所定の領域に保存する。次にステップ23において、上映サーバー11から受信し、保存した上映スケジュールに従って、所定の開始時間から順次番組を自動的に上映する。なお、ステップ20をタイマー等によって自動的に電源投入し、ステップ21からステップ23を電源投入によって自動的にプログラムを起動して処理するように設定しておけば、完全自動で番組を上映することができる。

【0015】

図3は、上映サーバー11内に蓄積されている上映スケジュールの例を示す図である。上映スケジュールは、図3のように上映項目の項目番号(No.)、各上映項目を上映する開始時間、画面に表示する画像データのデータ名、再生する音声データのデータ名が指定されている。項目番号1では、画像データがファイル名「PIC001.TIF」と指定されており、この画像データが上映制御用パソコン2の固定ディスク装置内の領域「C:¥PICTURE¥」に保存されるべきものであることを示している。同様に、音声データ「AUD001.WAV」は、領域「C:¥AUDIO¥」に保存することを指示している。

【0016】

上映制御用パソコン2では、上映サーバー11から上映スケジュールのデータを受信し、ついで受信する各画像データ、音声データを指示された領域に自動的に保存する。項目番号3の画像データ欄に指定された「http://www.a01」は、インターネット10上のホームページの情報を表す表記形式(URL)である。上映制御用パソコン2は、このURLによって指定されたホームページにアクセスし、その内容を画面に表示することができる。

【0017】

図4は、上映制御用パソコン2の番組上映の動作を示す図である。この動作は、図3の上映スケジュールに沿ったものである。上映制御用パソコン2は、上映項目1の開始時間「10:00:00」(時:分:秒)になると、上映用プログラムを起動し、画像データ「C:¥PICTURE¥PIC001.TIF」を画面表示する。それと同時に、音声データ「C:¥AUDIO¥AUD001.WAV」を再生する。次に、上映項目2の開始時間「10:00:15」になると、画像データ「C:¥PICTURE¥PIC002.TIF」を画面表示すると同時に、音声データ「C:¥AUDIO¥AUD002.WAV」を再生する。これらの画像、音声は大画面TV表示装置5、音声出力装置6に出力され観客に対して上映される。

【0018】

上映制御用パソコン2は、上映項目3の開始時間「10:00:30」になると、インターネット接続プログラムおよびホームページ表示用プログラムを起動し、インターネットに接続してURL「http://www.a01」で示されるホームページを画面に表示する。それと同時に、そのホームページの説明である音声データ「C:¥AUDIO¥AUD003.WAV」を再生する。以下同様に、上映項目4、上映項目5、上映項目6…の開始時間になると、指定されたホームページを画面に表示するとともに、そのホームページの説明である音声データを再生し、それらを上映する。

【0019】

このように上映制御用パソコン2は、上映サーバー11から番組上映のために必要な上映スケジュール、画像データおよび音声データを自動的に受信して、自動的に番組を上映することができるため、上映のための人手が節約できる。また、ホームページの画面表示に同期してホームページの内容等を説明する音声データを再生するようにしたので、観客にとって分かり易く、興味深い番組を制作することができる。そしてホームページ説明のための人員も不要である。

【0020】

上映サーバー11の上映スケジュールは、管理者が適宜変更することができる。

管理者が新しい番組を制作し、上映スケジュール、画像データおよび音声データとして上映サーバ11に保存しておけば、その上映スケジュールを受信した上映制御用パソコンの番組内容も自動的に更新され、常に最新の番組を上映することができる。また、複数のビデオシアターがあっても、それぞれの上映制御用パソコンがインターネットに接続されていれば、単一の上映サーバによって統一的に番組を更新することができる。

【0021】

なお、以上の実施の形態では、ネットワークとしてインターネットを利用するものについて説明したが、インターネット以外の広域ネットワークでもよい。また、ビデオシアター等の存在する地域が限定されていれば、LAN等の非広域ネットワークを利用してもよい。

【0022】

【考案の効果】

本考案は、以上に説明したように構成されているので、以下のような効果を奏する。

【0023】

上映制御手段は、上映サーバから番組上映のために必要な上映スケジュール、画像データおよび音声データを自動的に受信して、自動的に番組を上映することができるため、上映のための人手が節約できる。また、ホームページの画面表示に同期してホームページの内容等を説明する音声データを再生するようにしたので、観客にとって分かり易く、興味深い番組を制作することができる。そしてホームページ説明のための人員も不要である。

【0024】

番組の内容は上映サーバによって統一的に管理されているので、管理者が上映サーバの上映スケジュールを適宜変更することにより、上映制御手段が上映する番組内容も自動的に更新され常に最新の番組を上映することができる。また、複数のビデオシアターがあっても、それぞれの上映制御手段がネットワークに接続されていれば、単一の上映サーバによって統一的に番組を更新することができる。これにより管理者による番組の構成作業が容易となる。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.